

# プライバシー・心情に配慮した 内科健診の実施について



令和7年4月 豊川市医師会、豊川市教育委員会

学校では、学校保健安全法に基づいて、児童生徒の健康の保持増進を図るため、毎年内科健診を行っています。児童生徒の身体の状態を正確に検査・診察するために、令和5年度から豊川市内の中学校校医に女性医師を配置し、内科健診時に中学生女子が同性医師による診察を受けられるようになりました。今後も、豊川市医師会と豊川市教育委員会が協力し、児童生徒のプライバシーや心情に配慮した上で、より正確な健診を行っていきます。

## 内科健診では1年に1回しっかり身体の状態を診ます

子どもの成長に伴って、お家の人がお子さんの身体の様子を観察できる機会が減り、ちょっとした身体の異変に気づく機会が少なくなります。

そのため、学校での内科健診で身体を診てもらうことは、子どもの健康を守るための大切な機会であり、学校医が一人一人、視診、聴診、触診で健康状態を確認しています。

## 内科健診をきっかけに早期発見できた症例があります

「心臓の病気」、「脊柱側弯症や漏斗胸」などの病気が見つかった例が報告されています。思春期特発性側弯症の75%が学校健診で発見されています。

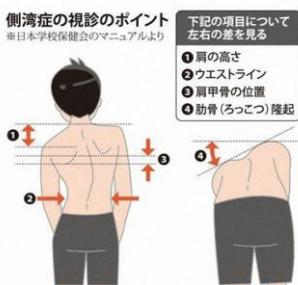
## プライバシーに配慮し、安心して受診できるよう努めます

- 内科健診は、カーテンやパーティション等を使用し一人ずつ行います。学校医と記録者、(介助者)だけがいる場所で安心して診察を受けられるよう配慮します。
- 個別の配慮が必要な場合は、事前に学校にご相談ください。

## 内科健診で、学校医は特にこんなところを診ています

### ●脊柱側弯症

背骨が左右に曲がる病気で、女兒に多くみられ、思春期に進行します。肩や肩甲骨の高さや位置の左右差、前屈した時の背中の高さの違いを診ます。体操服の上からの観察では、発見率が明らかに低いことが報告されています。

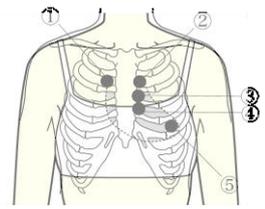


症状が進むと、外見上の問題だけでなく、背中や腰の痛みが出たり、胸郭が変形して肺や心臓に大きな負担がかかったりします。わん曲が進行すると、写真のような手術が必要となります。早期発見、治療で進行を抑えることができます。

### ●心臓の病気

心臓の音や呼吸の音を聞きます。

※衣類の上からの聴診では正確な音を識別することが難しいため、直接肌に聴診器を当てる必要があります。



(心音を聴診する場所)

※ もっと詳しく知りたい方は 『教えてドクター「もっと知りたい！学校健診」』で検索  
(URL : [202406 学校健診について知ろう OK](#))

## 児童生徒の心情に配慮した診察を実施します

診察時は原則、体操服を着たまま腕を抜く、または診察時のみ体操服を脱ぐ方法で行います。いずれの場合も下着は着用したままで構いません。

ただし、必要な診察を受けるために、衣服をめくったり、皮膚を露出させたりする場合があります。実際の診察方法や衣服の状態は学校からのお知らせで確認してください。

### 【診察時の衣服の例】

- 1) 体操服と下着を着用し、腕を抜く
- 2) 下着を着用し体操服を脱ぐ



※下着は、ブラジャー、キャミソール、スポーツブラ、ブラトップ、タンクトップなど、肩の出るもので、肩甲骨の周りが観察できるものが望ましい

## 学校での内科健診について

子どもたちが元気に学校へ通い活動するためには、本人、保護者、学校等が子どもの身体の成長や健康に関心をもつことが大切です。

内科健診を、病気の発見だけでなく、自分の身体について知ることや、健康への意識を高めるきっかけにしてみてください。

## 子どもの健康保持増進のため、今後ともご協力をお願いします

※ この文書に関するお問い合わせは  
豊川市教育委員会 学校教育課 電話 88-8033 までお願いします

